



くろだいんたーなしまなる

未来という希望と選択

令和6年5月2日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

世界が対立を抱き未来を失うとき、日本はその希望という日の出を世界へ与えるものである。

その国民性は、融和という自己を抱くことにおいて、融和という新しい世界を行うものである。

これらは明らかに新しい世界であり、西洋の支配する2極性という正義に対して、融和という選択を世界へ与えることができるのである。

これらは人々の幸せを自己とする、日本古来の現実が、世界の統一を実現することを提案するものである。

これら新しい未来と希望は、世界の融和と統一という新しい未来を実現するものであり、来たるべき未来における技術と学術進歩はその限りない可能性なのである。

これら対立における世界から、希望の共有という新しい未来への転換であり、外交施策における世界への提案は、新しい未来を世界へ提案するものである。

これらは貧困や道徳的退廃における未来からの落伍でなく、全ての人々への政治の責任における未来と希望の共有なのである。

社会的弱者が希望を持たない世界でなく、思いやりや労りという合意は、全ての人々が未来への参加を実現するものである。

これらは西洋の2極論という現実に対して融和と統一におけるあたらしい世界のコンセンサスの提案なのである。

これら日の出の国における新しい世界の提案であり、その王たちは、新しい世界へ新しい未来を与えることなのである。